



～組合員の皆さまとJAふじ伊豆 御殿場地区をつなぐ地区版広報誌～

御 殿 場
地区版広報誌

FujiIzu ^{ふじ伊豆} Plus

2026
4
vol.24
2026年4月1日発行



オープン初日のにぎわう店内

皆さまのご来店、
お待ちしております。

ファーマーズ御殿場
店長は「鮮魚売場ができ、ファーマーズ御殿場で食のすべてがそろったこと、利便性がアップしたことで来店者も増える。これを機に、出荷会員に今まで以上の農産物の出荷を呼びかけ、農家所得の向上を図りたい」と力を込めます。

2月27日、ファーマーズ御殿場に鮮魚コーナーがオープンし、3月2日までオープン記念イベントを実施しました。スタッフがつらつらと「ファーマーズ御殿場がオープンした時よりも来店客が多い」と驚くほどの大盛況となりました。

鮮魚コーナーのテナントは、主に首都圏に店舗を構える株式会社山助です。ファーマーズ御殿場の御殿場店店長の山口義之さんは「お客さまから伝わってくる『良いもの、おいしいものが食べたい』という思いに添えていきたい」と話し、「スーパードライなどではあまり見ないようなめずらしい魚なども販売し『また来たい』と思ってもらえる売り場を作っていきたい」と続けます。

ファーマーズ御殿場に
鮮魚コーナーオープン！

ファーマーズ御殿場



住 所／御殿場市ぐみ沢5
営業時間／8:30～17:00
定 休 日／水曜・年始(1/1～1/4)
電 話／0550-81-1831

鮮魚コーナーへのお問い合わせは
(株)山助 御殿場店
電話／0550-88-8448



オープン記念イベントで開店を待つ列



「おいしい！」と評判の本マグロ



刺身用やフライ用など用途に応じてさばいてくれる

ふじ伊豆+ ～お知らせコーナー～

農業所得向上を目指し、 御殿場地区の振興作物を 栽培しませんか？

振興作物栽培者募集中！

御殿場営農経済センターでは、ファーマーズ御殿場や市場、学校給食などへの出荷者を募集しています。水稲と複合的に農産物を栽培して、所得向上につなげてみませんか？

お問い合わせ先／御殿場地区営農販売課 電話：0550-84-4830

トウモロコシ

御殿場地区産のトウモロコシは、日較差が大きいことや早朝収穫により新鮮で大変甘いと高い市場評価を得ています。
※トウモロコシは4月25日～5月10日ごろに播種。

ゴーヤ

冷涼な気候から長期栽培・収穫が可能です。厳しい出荷規格を定めていることから品質が良く、市場での高評価につながっています。生産量増大を進めています。
※ゴーヤは4月下旬播種、5月下旬に植え付け。

その他の振興作物は、サツマイモ、タマネギ、キウイフルーツがあります。

年金・資産形成 無料相談会

年間スケジュール

開催日(すべて土曜日)

どなたでも
ご参加できます

無料

6月
13日

7月
11日

8月
8日

9月
12日

10月
10日

11月
14日

12月
12日

1月
9日

2月
13日

●開催時間／9:00～15:00

●開催場所／ローンセンター御殿場
(御殿場市ぐみ沢5)

お問い合わせ・ご予約は最寄りの支店まで
(ご予約いただくとお待たせしません)

JAふじ伊豆 御殿場英語教室

令和8年度 新入講生徒 募集中！



- 対 象／小学3年生～中学3年生
- 教 室／御殿場地区の9支店に設置
- 授 業 時 間／小学生 60分、中学生100分
- 月額授業料／小学生 5,500円(税込)
中学生 6,050円(税込)

詳しくは御殿場地区管理課
電話：0550-84-4807
または御殿場地区の各支店まで

土地・建物・相続

予約制

個別無料相談会のご案内

- ・土地、建物売り、買いたい
- ・遊休土地を有効活用したい
- ・アパートなどの建設業者から営業を受けたが、専門家の意見が聞きたい
- ・相続税対策について聞きたい
- ・農地の活用について相談したい など

不動産や相続の悩み、疑問に個別に対応いたします

- 日 時／4月8日(水)、22日(水) 9:00～16:00
- 場 所／不動産相談センター 御殿場店

お問い合わせ先・ご予約／不動産相談センター 御殿場店 電話：0550-84-4811
平日／8:30～17:00、土曜／9:00～16:00

お部屋探しはJAへ

春の新生活 応援キャンペーン実施中！

■期間／令和8年5月30日(土)まで

期間中、入居ご成約者様全員に
**消毒液ミニボトルやマスク、
指定ごみ袋をプレゼント！**
仲介手数料なし物件も多数ございます。
お気軽にご来店、ご相談ください。



【お詫びと訂正】

御殿場地区版広報誌2月号の中で、所得税の振替日に誤りがありました。正しくは「令和8年4月23日(木)」です。
お詫びして訂正いたします。



22 青壮年部が水稲講習会を初開催

青壮年部御殿場地区本部は、御殿場市民会館で初心者稲作講習会を初開催し、御殿場市や小山町内の農業担い手や新規就農者など22人が参加しました。

同講習会は、青壮年部とJAとの意見交換会で「若い農家から『米作りの基礎を教えてもらいたい』とお願ひされることが多い。青壮年部で講習会を開いてはどうか」との意見が青壮年部からあり、実施されました。



水稲栽培の基礎について説明する勝又職員



教材の一つ「ごてんぼこしひかり」の栽培暦

御殿場地区営農課の勝又厚職員が講師となり、米栽培のスケジュールや水管理方法、肥料袋の成分の見方など、米作りの基礎について講習を行いました。

参加者は「祖父母や両親から米作りを教えてもらっているが、栽培方法が昔から変わっていない。気候に合わせて栽培方法も変わってきていると感じていたので、講習会で新しい情報を得ることができ、大変勉強になった」と話しました。

青壮年部では「講習会の申込者が予想より非常に多く、米作りを学びたい人が多いことが分かった。今後にもつなげていきたい」と話します。

3月 18 センチピードグラス導入

御殿場地区営農課は、水田の畦畔やのり面の草刈り作業の労力軽減を目指し、雑草抑制効果がある芝の一種「センチピードグラス」の導入を進めています。

同課とセンチピードグラスの播種を行う(有)だるま製紙所は、昨年播種した箇所と今年播種を予定している箇所を巡回し、生育や今後の管理・除草作業などについて確認しました。

同課の内野美里職員は「センチピードグラスは順調に生育している。畦畔の草刈り回数が今の約半分になるのは播種してから3年ほどかかる。その間の芝の管理が重要になるので、巡回を続け、管理方法を指導していく」と話します。



センチピードグラスの種子を吹き付ける箇所を確認する生産者やJA職員

3月 18 水稲乾田直播栽培の導入試験2年目



直播はトラクターに専用のアタッチメントを取り付けて行う

御殿場地区本部や御殿場市、静岡県農林事務所、御殿場市の米生産者などで組織する「御殿場市みどりの農業推進協議会」は、市内の水田で水稲V溝乾田直播栽培の導入試験を行いました。

同栽培方法は、水稲の種子と肥料を専用の機械を用いて、干した水田に播種するものです。育苗、移植作業が不要となることで、それらにかかる労力や費用を大幅に削減することができそうです。

令和8年度は昨年度より約3・3倍の88アールの水田で導入試験を予定しています。

御殿場地区トピックス

3月 6 部農会長大会を開催

御殿場地区本部部農会長代表者協議会は、御殿場地区本部で令和8年度部農会長大会を開き、各地の正副部農会長や関係機関、JA職員など92人が参加しました。

同大会は、食の安全・安心に取り組み、消費者に求められる米・野菜作りを展開し、農家所得の向上、地域農業の振興を目的に毎年開催しています。

大会後は、気象予報士の天達武史さんによる「天気の達人がみた異常気象と気象災害への備え」と題した記念講演が行われました。御殿場地区の気象の特徴を交えながら、雲を観察することで天気の変化が分かることや土砂災害が起こる前兆などの話に、参加者は耳を傾けていました。



あいさつをする部農会長代表者協議会の小澤登会長



「話が分かりやすく楽しかった」と好評だった天達さんの講演

3月 18 第47回御殿場仔牛互評会を開催

JAふじ伊豆御殿場酪農部会は、御殿場市板妻の板妻牧場で「第47回御殿場仔牛互評会」を行いました。

梶本徹也御殿場地区副地区部長は「歴史ある互評会を通じて、生産者の生産技術の向上や相互の団結力の強化につなげてほしい」とあいさつしました。

互評会は月齢ごと第1部から第5部まであり、管内から12頭が出品。(株)野澤組の森真司さんが審査員を担当し、グランドチャンピオンには板妻の長田博行さんが出品した名号「TLHハーベストジョーン」が選ばれました。



長田さん(左から4人目)とグランドチャンピオン牛を囲む管内酪農家や関係者ら

3月 9 農業大学校が練馬区に視察研修へ



自ら考案した「加藤棒」を使いマルチの張り方を説明する加藤さん(右)

JAふじ伊豆農業大学校は視察研修を行い、1年生9人と2年生4人、御殿場地区営農課の職員が東京都練馬区の農業体験農園「百匁(ひやくめ)の里」を訪れました。

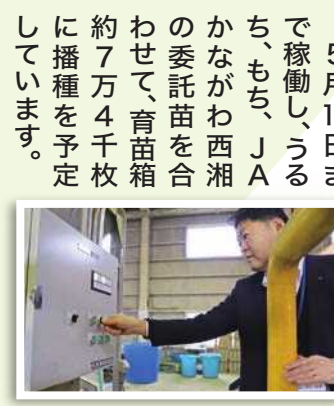
昨年も同園を訪れ、参加者から「とても勉強になった。もっと話を聞きたい」との声があり、再訪問となりました。

園主の加藤正明さんが、自ら考案した塩ビパイプ製の棒を使用して畝たてやマルチの張り方を説明すると、参加者はスマホで動画を撮るなど熱心に話を聞いていました。

同学校は、ファーマーズ御殿場の出荷会員の増加や地場産のおいしい農産物の普及を目指して令和8年度も4月から開講します。

3月 19 育苗・種子粉センター稼働中の安全を祈願

育苗・種子粉センターが3月23日から稼働し、令和8年度水稲苗の生産が始まることから、御殿場営農経済センターは同センターで火入れ式を行い、稼働中の安全を祈願しました。



始動スイッチを押す芹沢和彦御殿場地区本部長

2月 6 4支店で確定申告相談会を実施

御殿場地区本部は、同地区の4支店で「令和7年分確定申告相談会」を行い、18日間で約900件の相談を受け付けました。相談員は同地区の職員が担当しました。

組合員は「家の近くで申告ができ、書類も確認してもらえるので大変助かる」と話しました。



書類を確認する相談員